



2021年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社 安藤・間(呼称:安藤ハザマ)
代表者名 代表取締役社長 福富 正人
(コード番号 1719 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 木野 敏久
(TEL. 03-6234-3699)

中期経営計画における株主還元方針の拡充について

当社は、2020年2月に長期ビジョン「安藤ハザマ VISION2030」を策定し、その実現に向けた施策の初段として「中期経営計画(2021.3期~2023.3期)」(以下、「本中期経営計画」という。)を併せて公表しました。加えて、本中期経営計画において、当社は、計画最終年度である2023年3月期において、財務目標として連結ROE12%、株主還元方針として総還元性向50%以上を目標数値として掲げ、2020年11月より1年間に亘って上限100億円の自己株式の取得を進めて参りました。

今般、世界経済の先行き不透明感が増し、建設事業を取り巻く環境も大きく変化する可能性があるなか、改革をさらに加速させ資本効率の高い経営を強力に推し進めていく必要性が急激に増していることから、当社の取締役会は、本中期経営計画の進捗状況も踏まえ、資本効率の改善を加速させ、さらなる安定的かつ継続的な株主還元の充実を図るべく、本中期経営計画期間中の株主還元方針を下記のとおり拡充することを本日決議いたしました。

記

(1) 総還元性向の引き上げ

本中期経営計画期間における総還元性向は、計画最終年度である2023年3月期において「50%以上」を目標と定めておりましたが、2022年3月期及び2023年3月期の2期累計の目標を「100%以上」に拡充し、この目標達成に向けて、自己株式取得と普通配当を併せて2期累計で総額350億円以上の株主還元の実施を予定します。

なお、今後の中期経営計画期間末までの株主還元の内訳は以下を予定しております。

- ① 自己株式取得額：200億円※(2021年11月~2023年3月末)
※当初の投資計画を上回る大規模な成長投資を実施しない限りの予定額
- ② 年間配当額：40円(30円から10円増配)

(2) 自己株式の消却

企業価値向上に向けた資本政策の一環として、2020年2月以降に取得した自己株式19,322,200株(消却前の発行済株式の総数に対する割合9.64%)を消却いたします。

○2022年3月期から2023年3月期までの株主還元方針

項目	内容
総還元性向	2期累計で100%以上 (還元総額350億円以上)
自己株式取得	2期累計で250億円以上※
配当	年40円 (2021年3月期の年30円より10円増配)
自己株式消却	19,322,200株 (消却前の発行済株式の総数に対する割合9.64%)

※ 2021年4月～10月までに51億円取得済

以 上